

ともに学ぶ。考える。 インターネット安全教室



独立行政法人情報処理推進機構(IPA)では、大人も子どもも情報セキュリティ、情報モラルを「共に学び、考える」ことを目的としたIPA「インターネット安全教室」を全国各地で開催いたします。

ホームユーザー向け「インターネット安全教室」 全国50カ所にて開催予定

対 象：一般の方（シニアの方含む）
高等学校、中学校、小学校の児童生徒、保護者
などすべてのインターネットサービスを利用する方
20名以上の参加 受講者の参加費は**無料**です。
※簡単なアンケートにご協力いただきます。

内 容：ワークショップや話し合い活動などを取り入れ、自ら学び、考えていただく教室になります。私たちのネット利用の現状、スマホを利用するときや、リモートワーク時のセキュリティSNS、ペアレンタルコントロールなど、参加者にとって身近なテーマを取り上げます。



【インターネット安全教室に関するお問合せ】

IPAインターネット安全教室事務局（株式会社教育ネット内）

専用電話:045-530-9047

e-mail: net-anzen@ipa.go.jp

専用FAX:045-330-6122

公式サイト: <https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/net-anzen.html>



新たな時代に
今、伝える情報セキュリティ、情報モラルとは？

2020年に入り、私たちの生活様式は大きく変化しました。

リモートワーク、オンライン授業、ネットニュースの氾濫・・・
今までよりも情報通信機器を使用する機会が増え、インターネットに接続する状況が増えたと感じる方も多いのではないのでしょうか。

今この時代に、必要な情報セキュリティ、情報モラルとは何か。
一緒に学び、考える安全教室を全国で50回開催いたします。
ぜひご検討ください。 (開催時期:2020年6月～2021年2月15日まで)



★遠隔会議システムも含めた開催形態について

昨今は新型コロナウイルス感染防止対策のため、三密を避けることが求められています。事務局では関連組織の皆様と協議を行い、適切な形態で教室を開催いたします。現在、以下のような形態、またこれらを複合させた形態での実施が可能です。

- 

①現地会場開催
関連組織と連携し決定。20名以上収容できる会場でかつ感染防止の対策がとれる会場
- 

②オンライン開催
教室準備室として、講師自宅もしくは事務局やレンタルスペースを使用
受講者は遠隔会議システムやYouTube Live動画配信の視聴にて参加

それぞれの感染症対策、メリット、デメリット等は別紙「IPA②インターネット安全教室開催要綱」を参照ください。

遠隔会議システムはZoom、GoogleMeet等、関連組織の皆様と協議し適切なシステムを使用します。関連組織様への接続用パソコン、タブレット、無線ルーター等の貸し出しも行います。貸し出し数に限りがありますので事前にお問い合わせください。